

特集

## スキー研修

(2年生特集)



団体は本校だけ。一般客は、まばら。ほぼ貸し切り状態のゲレンデ。快晴。さらさらの雪。スキースクールの規定で、マスク着用が義務づけられ、やや息苦しさもありましたが、最高のコンディションの中で、2年生はスキー研修に行ってきました。

最初は、話を聴いているときにだって止まっていられなく、転んでしまう状態。でも、午前のレッスンが終わる頃には、ブルークボーゲンでちゃんと滑れるようになっていました。中学生の上達の早さ、本当にすごいです。

## なぜ、こんなにも上達が早いのか？

「この人数といえども、全員そろって一番上から、途中のやや急な傾斜面でもスキー板をはずして歩くことなく滑ってこられる団体は、なかなかありません。こんなことを言うと叱られるかもしれませんが、もっと悪戦苦闘すると思っていたのですが…。この子たち、すごいです。」

すべての日程を終え、帰り支度をしていた時、インストラクターの方がこんなことをおっしゃいました。

なぜ、こんなにも上達が早かったのでしょうか。

主体性と人間関係力が育っていることが大きな要因となっています。

生徒たちは、インストラクターの話を一生懸命に聴こうとします。そして、言われた通り素直に実行しようとしています。でも、なかなか思うようにいきません。それでも、簡単にあきらめようとせず、やり続けようとしています。

そんな姿を見て、お互いに「うまい。

うまい。」「大丈夫？」と声をかけあったり、転んだ時には、何とか起こしてあげようとしていたりします。自分の足元すら、ちゃんと止まっていないのに…。

こうした主体的にやり続けようとする思いと、それをみんなで支えようとする思いが上達へと結びついていったのです。

「今日、転んでばかりいたかもしれませんが。でも、一生懸命にやり続けました。スキーだけではなく、他のこともこんなふうに頑張りたいと思います。」

終わりの会でインストラクターの方が言われた言葉には、今日のようにみんなで支えあい、苦しいことも簡単にあきらめず、乗り越えていってほしいという意味が含まれていました。

月曜日の学級活動の後、提出されたしおりの中に、今回を象徴するこんな短歌を作った人がいました。

お互いを  
助け 褒め合う 2A は  
どの学年よりも最強なのは



貸切の食堂で昼食をいただきました(カレー、おかわり自由)



生徒作品

## みんなでできたから 楽しかった

スキー研修で心に残ったことは？

僕が心に残ったことは、最後にリフトに乗って山頂から滑ったことです。

山頂から見える景色がきれいだったことや転んだけれど最後まで滑ってこられたことがとても楽しかったです。

初心者でも上手に滑れるようになったことです。そして、みんなと滑ることができてすごく楽しかったです。

制限があったり日帰りになってしまったりしたけど、よい経験になりました。

挨拶・反応・時間行動だと思います。研修前、みんなで取り組みました。研修中には、助け合いもでき、楽しくできました。これからも、3年生に向け課題を改善し、さらにより学級になりたいです。

初めてスキーをしました。はじめは転んだりしたけど、最終的にはスーと滑ることができ、スキーを楽しむことができました。仲間に助けられたり助けたりすることがあり、とても印象に残りました。

最初僕は、みんなとスキー研修に行くのは、何のためかわからなくて、行きたくはなかったけど、スキー研修に行き、おいしいカレーとおもしろいDVDを見ることができたのでよかったです。

挨拶・反応・時間行動。すべて守ることで、全員が楽しく笑顔で研修を行うことができました。コロナの中でも先生やスキー場の方のおかげで研修が行えていることに感謝し、価値のある研修となりました。

仲間と協力することを学びました。誰かが転んだときに助ける姿、声をかける姿。そして、一緒に滑っていく姿など、仲間とのかかわりがとても多く、学びの多いとてもよい研修になったと思います。

最初は不安だったけど、仲間同士で教え合いながら、だんだん滑れるようになって、とても嬉しかったです。とても楽しい一日となりました。クラスの仲間と一緒にスキー研修を行って、よかったですと思います。

とても高いところから滑ったことで、怖かったけど、仲間と楽しく滑って一番の思い出になりました。クラスで決めた挨拶・反応・時間行動、そして、当日には、主体性を意識して頑張れました。

スキー研修で必要となる力をつけるために行った取組で、私たちはとても成長しました。そして、この取組をしたおかげでスキー研修では、挨拶や反応、時間行動を意識して行うことができました。

学んだことの一つ目は「反応すること」です。取組を通して、はっきりという自信がつかえました。二つ目は、あきらめずに頑張ることです。スキーは初めてでしたが、山頂から滑ることができたからです。

最初は止まれずに何度も転びました。私が転んだ時、友達が助けてくれてとても嬉しかったです。互いを応援し合ったり、助け合ったりして楽しいスキー研修でした。今度は家族や親戚と来たいです。

私が転んだとき、みんなが手を貸してくれたり、大丈夫？と声をかけてくれたりしたので嬉しかったです。2Aの仲間が、みんな優しいとわかりました。みんなと出かけることができよかったです。

インストラクターの話に反応したり、誰かが転んだときには「大丈夫？」と声を掛け合ったりし、人間関係力が高まりました。スキー研修に全員で行って、楽しく滑ることができたからよかったです。

最初は難しかったけど、徐々に慣れてきて上手に滑れるようになりました。とても楽しかったです。また、研修の中で主体的に反応、挨拶、練習、感染予防に取り組む姿がとてもよかったですと思います。

みんなで楽しみながら活動ができてよかったです。また、みんなが積極的に呼びかけをしたり、協力したりすることができました。特に、挨拶、反応の音量が大きくなり、自分もできるようになりました。

心に残ったことの一つ目は、久しぶりのレッスンを楽しくみんなでできたことです。もう一つは、お昼ご飯のカツカレーです。少し辛かったけど、おいしかったです。仲間と楽しく研修ができて嬉しかったです。



# 表現力を磨く

## 教室に響く

### さわやかな挨拶

「授業の始めの挨拶をしっかりやるようになってから、気持ちよく授業が始められるようになりました。」

どの学年の級長も、同じことを語っていました。

新年、そして3学期のスタートにあたり、授業の始めと終わりの挨拶を大切にすることで、授業に向かう姿勢に大きな変化が見られました。

以前は、お辞儀をしながら「お願いします」と言ったり、「お願いします」と最後まで言い切っていなかったり、言い終わらないうちに座っていたり…。

新しい年を迎えるにあたり、まず「ちゃんとやり切ること」を意識しよう。そんな願いから始められたものでした。

起立をしたときの背筋を伸ばした姿勢、お辞儀をするときの腰から曲げる動き、そして「お願いします」の声を一人一人がきちんと出し、最後まで言い切ってから「着席」の合図で座ること。

授業の始まりの挨拶を意識するだけで、一段と引き締まった雰囲気が出て、毎時間よいスタートができています。

授業のよいスタートは、その後の学習にもよい影響を与えています。「やる気が出るような感じがする。」「集中力が以前より続くようになってきている。」などの声も生徒たちから聞こえてきており、授業中の学習に向かう姿勢が今まで以上に集中できるようになっています。

## 話す

「話す」とは、ただ言葉を発すること。「伝える」とは、発した言葉が相手に響くこと。また、相手に響かせようと努めること。

つまり、「話す」主体は自分。「話す」とは、自分が話したいという欲求を満たすための行為で、そこに相手は存在していません。「伝える」主体は、相手。話し手は、相手を意識し、相手がわかるように考えながら音声を発します。だから、「伝える力」が高まれば、表現力はもちろん、人間関係力も高められるというわけです。

学校生活の中には、自分の考えや思いを伝える場面は多くあります。そこでは、時と場に応じて、適切な声の大きさを使う、はっきりとした声で最後まで話す、内容を整理して話すなど、聴いている相手を意識して、話し方を工夫することが必要となってきます。左記の授業における挨拶もその一つです。

3学期は、さらに表現力を磨いていくため、相手の立場に立って、“ちゃんと伝えられる力”の向上を目指しています。

1年生では、発言の最後に「どうですか？」や(英語の授業で)「OK？」と付け加えるようにして話しています。この問いかけに対して、「わかりました。」「同じです。」など、一人一人が反応しています。



写真は、3年生の授業開始における挨拶の様子

## ? 伝える ?

2年生でも、仲間の話したことに対する反応に変化が見られるようになってきています。「今までは、“分かりました”の決まった言葉だけだったけど、いろいろな反応ができるようになってきました。」「なるほど、おーなどの自然な言葉の反応や拍手など、反応の種類が多くなりました。」など、仲間の考えや思いをしっかりと聴いて、自然であたたかい反応ができてきています。

3年生では、「話し合い活動がどんどん進化しています。」と語る級長。授業内での全体交流で、教科係が全体の司会をし、自分たちだけで学習課題についての話し合いが進められるようになってきています。また、教え合いも積極的にでき、2年生同様あたたかい雰囲気の中、互いに自分の思いを話せるようになってきています。

今年度、『話し合いができる学校』を目指してきました。そして、各学年で、それぞれの発達段階に応じた話し合いの姿が見られるようになり、その姿は、学年を増すごとに、話し合いの進め方や内容において、向上が感じられるようになってきました。

ただ、授業の挨拶同様、最後まで言い切らなかつたり、単語だけで話したり、発言しながら座ったり、小さな声量でしか話せなかつたり…。

実は、仲間関係が家族のように近い関係になると、長い言葉は必要のないものとなってしまいう傾向があるため、このようなことが起きるのです。

今、学校ではそんな関係にあっても、さらに表現力を磨いていくため“ちゃんと伝える”ことを目指して指導を行っています。

コロナによる臨時休業の影響で、高等学校の入学試験日と発表日に変更されました。そのため、本校では、下記の通り日程を変更します。ご承知置き願います。

- **3月4日(木)から15日(月)までは、3年生のみ午前授業。**(ただし、それまでに臨時休業が入らないことが条件)
- **3月16日(火) 卒業証書授与式。1・2年生は、参加をしないため、この日は休業日とする。**
- **3月21日(日) 公立高等学校合格発表日。1・2年生は、午前授業日(弁当なし)とする。また、その振替休業日を3月19日(金)とする。**

(P8の行事予定表参照)

なお、何度もお知らせをしていますが、生徒を守るため、次の2点の徹底をお願いします。

- ① 身近の方でPCR検査対象者がいたらすぐ連絡を。
  - ② 同居のご家族でPCR検査の受検対象者となった場合には、お子さんを絶対に登校させない。
- 上記①②の場合は、下記の学校携帯に連絡をお願いします。

**090-1419-9649**